

平成29年度決算を認定しました

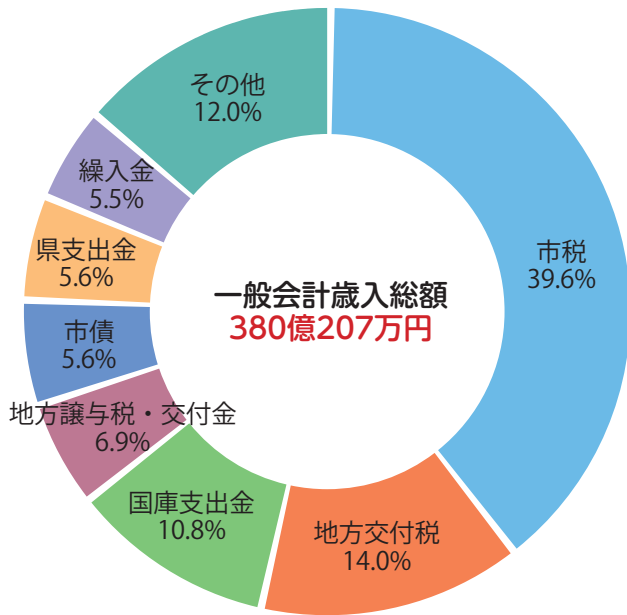
決算
審査

認定

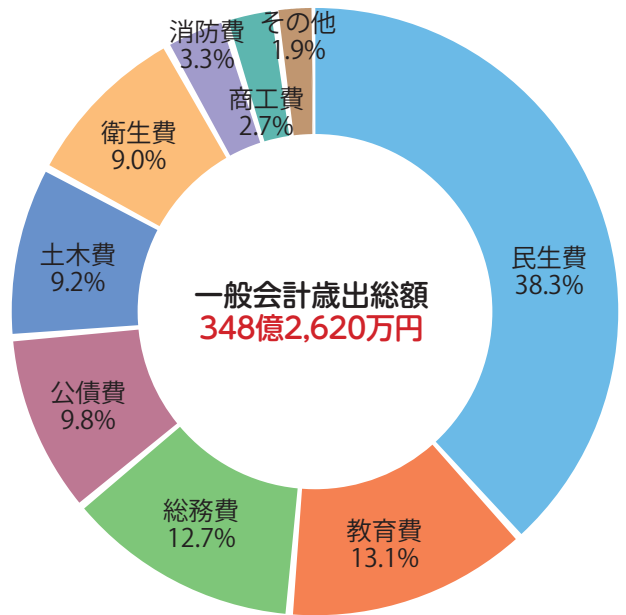
9月5日、7日、10日の3日間にわたり、正副議長、監査委員および前監査委員を除く20人で構成される決算特別委員会が、平成29年度の決算を審査しました。

一般会計の歳入歳出差引額は、31億7,587万円となり、このうち翌年度へ繰り越す財源が4億6,281万円、実質収支は27億1,306万円となりました。

なお、一般会計歳入歳出総額の構成割合は、以下のとおりです。



その他の内訳：繰越金、使用料および手数料、諸収入、分担金および負担金、財産収入、寄附金



その他の内訳：議会費、農林水産業費、諸支出金、労働費、災害復旧費

決算審査質疑

一般会計に関する質疑から一部をご紹介します。

問 ふるさと納税の返礼品の額について、本市の考えはどのようか。また、ふるさと納税による本市の市税のマイナスはどれくらいか。

答 総務省から、返礼割合は3割以下、ゼいたく品は贈ってはいけないとの通知があり、本市は今年の1月からその通知に従っている。収入額は9千700万円であるが、多治見市民が他市に寄附をした額が2億5千万円あり、差し引き約1億6千万円のマイナスになるが、控除額の72%が地方交付税で措置されるため、収支としては約1千800万円のプラスとなる。

問 子ども医療費について、平成29年度決算を経てどんな動向が読み取れたか。

答 対象者自体は、若干減少しているが、給付額は伸びており、受給対象者が病院にかかる件数も増えている。医療費の抑制は必要であるが、必要な医療は受けていただかなくてはいけない。その状況で、いかに医療費を抑えるかということで、毎年夏休み前に小学校、中学校、幼稚園等の保護者を対象に、保険診療や福祉医療助成制度の仕組みを周知し、無駄な医療費の削減に努めている。

問 インクルーシブ教育推進事業費について、インクルーシブ教育のモデル校である陶都中学校ではiPadを使用したという

ことであるが、本市の学校ICT環境整備計画ではウィンドウズタブレットを使用することになっている。iPadは購入したということがあるか。

答 iPadは、陶都中学校用に40台購入した。教員が、子どもたちの姿を撮影したり、教材を提示する場合に活用している。取り組みを通じて、学力の向上に役立つという報告を受けている。iPadは、適切な支援やユニバーサルデザインの視点を踏まえた支援が必要な子どもたちを中心に導入し、ウィンドウズタブレットは、子どもたちの学習にかかわるものについて導入していくよう分けている。

問 路線バス昼間運賃割引制度（200円パス）について、歌をつくり周知を行ったが、昨年1年間の効果はどうだったか。

答 毎年、乗降調査を行っており、平成29年度は導入前と比べて、11%増であった。今後、地道なPRで利用者の拡大につなげていきたい。さらに、路線バスでは補えない交通については、あいのりタクシー等で補っていきたいと考えている。

問 消防団の啓発事業費について、若い人が分団員として充足していない状況がある中で、どんな取り組みを行っているか。

答 女性消防隊が、シヨーカーちゃん、ホース君のキャラクターをつくり、幼児期から歌やダンスで消防団や消防に親しんでもらう活動を行っているほか、平成29年4月1日から学生消防団の運用を開始し、1年間消防活動をした学生に対し、その活動を証明することによって、就職活動などで役立っていたと活動を行っている。

この議会だよりは1部当たり10.04円(税込み)で、40,300部作成しています。



リサイクル適性

たじみ議会だよりは環境に配慮した再生紙と植物油インキを使用しています。この印刷物は、Aランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物を破棄するときには、燃やさないで、資源回収等に出しましょう。